平成２６年２月２７日
ＥＩＮ　エネルギー情報ネットワーク

ＬＰガスＣＰ情報(２０１４年３月積み)

１．３月積みサウジアラムコＬＰガスＣＰ
プロパン８５５ﾄﾞﾙ（前月比　－１１５ﾄﾞﾙ）
ブタン　８７０ﾄﾞﾙ（前月比　－１００ﾄﾞﾙ）

①　ＬＰガススポット市況
ＬＰガス市場をみると、アジア地域は需給に逼迫感がなく市況は軟化、寒波と原油高騰で急騰した米国市場も下旬に急落した。ＣＰ先物指標は第２週には 900 ﾄﾞﾙを割り込むとともに、先物市況はバックワーデーション（期先安)、7 月限は 780 ﾄﾞﾙまで下げており先安感が強い。極東ＣＦＲ市況は第 4 週末でプロパン 891 ﾄﾞﾙ、ブタン 909 ﾄﾞﾙに軟化しＦＯＢネットバックではプロパン 850 ﾄﾞﾙまで下げた。プロパン・ブタン格差は台湾などの石化原料増を受けたトレーダー勢のブタンの引き合いが強まりプロパン安ブタン高に転じた。フレートは中東スポット需要が弱く軟化した。
原油（Ａ・Ｌ）熱量等価換算では前月に比べプロパン 13 ポイント、ブタン 11 ポイントの下落、前年同月比ではプロパン 1 ポイント、ブタン 3 ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	54.8	48.6	48.3	43.6	48.8
ＣＰ先物指標：Ｐ	925	886	877	880	892
ＣＰ先物指標：Ｂ	925	886	892	900	900

②　原油市況等
原油市況をみると、2 月ＷＴＩは 96 ﾄﾞﾙ、ドバイ 102 ﾄﾞﾙ台でスタート。トランスカナダの「キーストンＸＬ」パイプライン南伸部分（クッシング～テキサス）が 1 月に稼働し、1 月末からクッシングの在庫が 4 週続けて急減、過剰在庫が解消に向かいＷＴＩは急騰、中旬以降 101～103 ﾄﾞﾙのレンジで推移した。また、米国が記録的寒波に見舞われヒーティングオイルを含む留出油需給の逼迫が懸念されるなか、米暖房用油種、天然ガス、プロパンが中旬に急騰、下旬には急落するなど乱高下した。一方、先物市場は株高もあって大口投機玉の買い越しが急増、18 日時点で 41.6 万枚と過去最高を更新した。
○２月積みアラビアンライト（2 月 1～26 日）は 107.42 ﾄﾞﾙ（前月比－0.35 ﾄﾞﾙ）
熱量等価ＡＬ100%　プロパン 880.73 ﾄﾞﾙ／ﾄﾝ　ブタン 868.65 ﾄﾞﾙ／ﾄﾝ
ＡＬ比　プロパン　97.08%　ブタン 100.16%

２．2014 年 3～4 月ＬＰガス仕切（**ＣＰコスト変動分**）への影響

適用期間	ＴＴＳ	Ｐ:円建ＣＰ	Ｂ:円建ＣＰ	Ｐ前月比	Ｂ前月比
16～15日①	103.27	88,296	89,845	－12,500	－11,000
26～25日②	103.26	94,200	95,000	－10,300	－10,000
1～30日③	103.16	96,100	96,600	－8,500	－8,700
1～30日④	103.16	94,100	94,900	－9,800	－9,500

＊ＴＴＳ平均は①が 2 月 16 日～2 月 27 日まで、②は 1 月 26 日～2 月 25 日
③は 2 月 1～27 日、④は 2 月 1～27 日、①は 4 月仕切への影響、②～④は 3 月仕切適用。③は前月ＣＰ3 分の 2、当月ＣＰ3 分の 1 の案分。②、④は前月・当月ＣＰ50%案分。詳細は（ＬＰガス価格推移表等を参照）
なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、ＣＰコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。